

(No.1 2015年09月発行)

NPO法人 子どもの環境を守る会Jワールド
Web: <http://kosodate-hiroba.com/index.html>

GET YOUR DREAM!!

7月11日、中学・高校生対象の「GET YOUR DREAM!! 目指せ、スペシャリスト! ~今から描く自分の仕事~」が、柿の木台公園体育館にて開催されました。

今回は医師・農家・花屋・元南極観測隊の衛星通信担当者の方を講師に、職業や人生についてお話を聴きました。その後、将来について中高生が語り合うグループワークを行い、それぞれ意見を出し合ってこれからの自分をじっくり考える時間を持ちました。中には「生きる目的」について話が発展したグループも…。

中高生が視野を広げ将来と希望を見る機会を、これからも提供し続けたいと考えています。



講演の様子

県立松戸向陽高等学校

『あなたは高価で尊い』授業

4月17日~23日、県立松戸向陽高校の家庭科のライフプランニングの時間に「コミュニケーションの土台~あなたは高価で尊い宝物~」の授業をさせて頂きました。前半は「ひとりひとりがどれほど大切な存在か」という講義、後半は小グループのディスカッションという構成。大学生スタッフの協力により、生徒さんたちもかなり本音で話ができ、自分自身を表現する貴重な時間となりました。

授業は昨年にも行いましたが、その時には「自分は大切に、かけがえのない存在だと思う」

割合が、当てはまる、やや当てはまるを合わせ、学習前は35.6%だったのが、学習後は81.8%と大きな効果があり、校長先生を始め多くの先生が驚かれたという感謝の報告を頂きました。

スタッフの感想は「どのクラスも高校生になるまで誰からも『あなたは宝物』と言われたことがないという生徒さんがほとんどだったので、是非継続してやっていきたい。」です。学校が地域に開かれ、私たちにも貴重な機会が与えられたことを感謝しています。



「さあ、いまから授業だ」

松戸市教育長 伊藤純一氏講演会 『地域のつながりの中で子どもたちを育てる—教育文化の構築—』

6月13日、SRCビルにて松戸市教育委員会教育長伊藤純一氏による講演会が行われました。上記のテーマで、福井県の例などから、松戸市として何が出来るか、表面的な学力ではない、地域全体の教育力をどう作っていくかを熱く語って下さいました。

講演中、「広い視点から、子どもたちの力を伸ばすために地域で何をすればいいのか…松戸は総合力で子どもたちの力を伸ばすべき。その意味でJワールドさんとは意見が同じなので頑張ってもらいたいし、私も頑張る。そして松戸市全体の教育文化作りを高めていきたいと思って、今回のお話をお受けしました。」と教

育長がJワールドを応援して下さる場面も…。

当日は、斉藤健衆議員をはじめ県会・市会議員の方々、松戸市の小・中・高の校長先生、PTAの方々、また松戸市役所から教育に携わるの方々など、多くの松戸市の教育を担う方々がお集まり下さいました。講演会後の交流会も熱い語り合いが持たれ、続いての昼食会も「さっちゃん食堂」のカレーライスを召し上がって頂きながら、かなり盛り上がりました。

学習支援事業

平成26年度から始まった松戸市委託事業である中学生の学習支援事業は、対象を被生活保護世帯からさらに生活困窮家庭にも広げ、週2回開催されています。勉強を教えるだけでなく、居場所作りとしての機能をもち、学力向上を通し、自立する力を養うことも目的としています。昨年度、定期的に通っていた生徒は全員高校に合格しました。

通う中で、人の輪に入れなかった生徒が笑顔を見せるようになり、一緒にゲームができるようになりました。多くの生徒が最初は暗く、表情もありませんでしたが、挨拶や会話をすることができるようになりました。

卒業後もユーススペースに通い続けている生徒が数名います。今年度は利用する中学生が増え、毎回30名位が真剣に勉強しています。中には中学3年生にもかかわらず足し算引き算から始める生徒もいますが、丁寧に指導する中で勉強の面白さを体験していくようです。また、お誕生日祝いは欠かせません。ケーキが出されると、最高の笑顔を見せてくれます。



勉強中…

Jキッズ里山自然体験@千葉県香取市

7月25～26日、香取市栗源の旧沢小学校にて、Jキッズと地元の小学生と一緒に遊び、一緒に泊まるプログラムが持たれました。地元の農家の方が野菜を収穫させて下さったり、カブトムシやクワガタを捕りに行ったりなど、貴重な体験をさせていただきました。Jキッズを卒業した中・高・大学生のボランティアスタッフの協力のもと、校庭を使ったチーム対抗ゲームや、大水かけ大会など、思い切り体を動かしてのダイナミックな遊びで、みんなはじけていました。

最後は班ごとに4つのテーマで写真を撮りながらのウォークラリー。大人顔負けのすごい写真を撮ってきた子どもたちを見て、宝石の原石のように、たくさんの可能性を秘めているんだということが実感できました。



里山の自然ってどんなのだろう？



ウォークラリーで撮ったトンボ